

平成30年度 第9回石岡市ふるさと再生会議 会議録

1 会議の名称

平成30年度 第9回石岡市ふるさと再生会議

2 開催日時

平成30年9月21日（金） 13時30分から15時15分まで

3 開催場所

石岡市役所本館 1階大会議室

4 出席者

11人

5 会議録（要旨）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

1）地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

【会長】

事務局より資料1の説明をお願いします。

【事務局】

資料1説明

【会長】

ご意見、ご質問あればをお願いします。

【委員（質疑・意見）】

○第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業

・移住者数の内訳を知りたい。

→（事務局）地域おこし協力隊の4名のほか、就農者の実績を計上した。

・ポータルサイトの評価は。

→（事務局）開設にあたっての目標値は定めていないが2サイト合わせて9,000以上のアクセスがあったことは一定の周知広報の成果があったと考える。今後内容の精度を向上していく。

○水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト

- ・レンタサイクルの利用者数とりんりんロードの利用者数は石岡市のものか。
→（事務局）全体の数値を掲載している。
- ・広域レンタサイクルは土浦の優位性が高い。高浜駅ならではの差別化・補完性を考えたい。集客力のあるコンテンツが必要
- ・交付金の名称と事業期間は
→（事務局）地方創生推進交付金。平成 32 年度まで
- ・石岡の優位性は、初心者向け・家族向け・短距離向けのアピールが良いのでは。
- ・（サイクリング）地元の人でも知らない人が多い。電動自転車など差別化してみてもは。
- ・いばキラ TV・NHK 水戸へ紹介してもらっては。番組誘致など。
- ・どの層に対して PR しているか。車で来る人も多い。
- ・駐車場の確保なども検討されては。
- ・貸出所の見直しの経緯についてしりたい。
→（事務局）駅近いことと、宿泊可能、人が常駐していることなどを考慮し、いづみ荘に変更した。利用者をいづみ荘が送迎した例もある。
- ・恋瀬川サイクリングロードの路面状況改善してほしい。
→（事務局）りんりんタウン構想の策定の中で方向性を見出したい。
- ・レンタサイクルは一つの手段として推進しては。モデルコースも市独自のものを用意しては。
- ・サイクリングロードの整備について、イベント誘致などをきっかけに整備がすすむ例もある。参考にされたい。

2) まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略の進捗について

【会長】

事務局より資料 2 の説明をお願いします。

【事務局】

資料 2 説明

【会長】

ご意見、ご質問あればお願いします。

【委員（質疑・意見）】

○（基本目標 1）市の強みを活かした安定した雇用の創出

- ・就職しやすい環境づくり、魅力的な企業誘致など趣旨は理解できるが、より具体的な取り組みを進めてもらいたい。企業側への求人情報のヒアリン

グなどを実施しても良いのでは。

- ・雇用対策協議会等の機関との連携も大切。
- ・就職相談会の参加学生が減っていると聞いている。就職支援の考え方の見直しが必要では。
- ・リクナビ等の民間企業の活用等も検討されては。
- ・県外から市内企業に就職した場合に奨励金を出されては。飲食業は常に人不足で困っている。
- ・6次産業化の支援について、市職員のアイディア、サポートはもっと積極的でないといけない。

○（基本目標2）市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

- ・おまつり60万人を目指すのであれば、海外に目を向けた誘客に努めては。
- ・（おまつりの外国人誘客）外国人記者を招待してみてもは。
- ・SNSによる拡散が効果が高い。
- ・外国人とのパイプがある議員・MUC C等を活用してみてもは。
- ・まつりつくばは外国人が多く集まっている。石岡のおまつりも十分可能性がある。
- ・PRも大切だがキラーコンテンツが必要なのでは。
- ・体験メニューを増やすことが大切。
- ・食と酒のイベントについて、商工会議所青年部も積極的に協力できる。既存のイベントと共催することも可能。

○（基本目標3）若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

- ・産科医の確保について
 - （事務局）石岡地域市民医療懇談会を立ち上げた。この意見を踏まえ方向性を決めていくこととしている。
- ・保育園、幼稚園の特徴等の情報発信をさらに取り組んでいただきたい。
- ・保育所の運営の民営化を進めて、財源の有効利用を図るべきでは。
- ・民営化を進めても行政の責務は消えないため、留意する必要がある。
- ・保育士確保のため助成金を出すなどしないと人材確保がむずかしい。都市部の給料に及ばず、人材が流出してしまう。
- ・子育て環境に対して満足度の達成状況が悪い要因は
 - （事務局）目標値が高く設定されている状況。保育所運営への要望や、子供の医療費助成についての要望がきている。
- ・新婚世帯の家賃助成が切れた後転出するという話を聞いている。理由として町の魅力のなさなどが指摘されている。子育ての満足度だけにとらわれず、つながっているのでは。

- ・各事業が進捗しているのに、出生率が改善されていないことを見ると、何か要因があるのでは。手法の見直しも必要では。
 - ・出生率と構成事業の関連について分析の余地がある。
- （基本目標 4）時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る
- ・生涯現役プラチナ応援事業の周知をさらに行ってもらいたい。
シルバーリハビリ指導士の資格取得をさらに推進すべき。特に1級など。
介護保険料低減のためには、有償ボランティア制度やシルバーリハビリ体操は要介護者以外に積極的に広げた方がよい。

【会長】

本日出た意見はとりまとめて市につないでまいります。

(5) 閉会

以上